

❖ 単元名「思考の幅を広げたい。その手段となる語彙や表現を豊かにするにはどうしたらいいか。」

❖ まずは、教材で使われている漢字について「読み・書き」を知ったり、確認したりしていくいいのでは？

課題① 次の二人の会話を読んで、(A)それぞれの空欄にあてはまる言葉を書こう。

【松本さん】 「中学校一年生で『さまざまな表現技法』を勉強したことを思い出していたんだよ。」

【川上さん】 「表現技法って、『対句』とかのことだね。」

【松本さん】 「そうだよ。他にも……」

一 きつぱりとした印象やしみじみとした余韻を残すために、文末や句末を体言(名詞)で結ぶ方法

(☐☐☐☐☐☐)

二 普通の言い方と言葉の順序を入れ替えて、歯切れのよいリズムや情景や心情を強調する

(☐☐☐☐)

三 同じ言葉を繰り返してリズムを生み出したり、描かれている心情や情景を強調する

(☐☐☐☐)

△ 表したい情景や心情を言い切らず、文章や言葉を途中で止めて、後を省略する方法

(☐☐☐☐)

＜ 物事を、他のものにたとえて表現することを「比喩」と言う。比喩には主に三つの方法がある。

・「まるで……」「あたかも……」「……ようだ」などの言葉を使ったとえる方法 (☐☐☐☐)

・「まるで」「ようだ」などの言葉を使わずにたとえる方法 (☐☐☐☐)

・人間でないものを人間にたとえて表す方法。自然現象や物体などを

人間の行動や気持ちになぞらえるので生き生きとした印象を与える。

(☐☐☐☐☐☐)

課題② 次の言葉の意味を調べて書こう。

「よどむ」の意味は色々あるね。「心のダムにせき止められ」というところでは、既に比喩が使われているので、①の意味のようだけれど同時に②の意味もあるというように読み取れたな。あてはまるところに印をつけておこうと。



握手	握手	握手	握手	握手	握手	握手	握手	春に	春に	春に
平凡	いとまづい	地道	こたえる	奇妙	気前がいい	年季が入る	達者	もどかしい	せめぎあう	よどむ
特に優れたところがなく、並みなこと。 ④ 水底に沈んでたまる。										① 流れる水がとどこおつてとまる。 ② 事がすらすらと進まない。③ ためらう。
「平凡に暮らす」										

④ 「平凡な作品」対義語【 】